

解答・解説

2 すうじを かいて みよう ②

1 ありの かずだけ 6に いろを めり、すうじを なぞりましょう。

2 くたもののかずを かぞえ、くたものごと すうじを 6で むすびましょう。

3 すうじを じゅんぱんに かさましょう。

※色を塗る○の位置は不同

1 おひがい

2 ひよういん

3 ちくわや つづいて

4 しつこう がしょくう

数字の字形・筆順の学習を行います。しっかりとお手本を見て書き順どおりに丁寧に書けるとよいでしょう。お子さまが数字を書き終えたら、多少字形がおかしくても明らかな間違いがなければ「うまくかけたね」とほめてあげてください。保護者の方の温かい声かけがお子さまのやる気を引き出し、「勉強が楽しい」と感じるようになります。本書では、数字の「7」の読み方を「しち」、「4」の読み方を「し」としていますが、その他にも「4」には「よん」、「7」には「なな」という読み方もあります。学習を進める中で、数には異なるいくつかの読み方があることを話してあげるとよいでしょう。

さんすう 第2回

さの違いによって、別の言葉になることがあります。気づいてもらうことが問題のねらいです。問題を解いたら声に出して読みましょう。

3 拗音と促音の書き取りの練習です。一年生の答案の中には、拗音と促音の大きさと位置がめちゃくちゃなものが数多く見られます。ます目の右上に小さく書くということを今のうちからしっかりと頭に入れておくとよいでしょう。

4 例えば「きょうしつ」を「きうしつ」と書いてしまうといった誤りは、一年生の子どもによく見られるものです。音声と文字が一致するように、「書く→声に出す」という練習を繰り返しましょう。

1/2/3

第1回

3 ゆうえんちて あそぼう ②

ゴーカート

おばけやまき

ゴーカートで、初めから全ての橋を渡つてゴールまでたどり着くのは困難です。お子さまが戸惑っているようであれば、「なるべくたくさん橋を渡つてゴールまで行ってみようか。」と提案し、試行錯誤を繰り返しながら挑戦してみてください。おばけやまきでは、まずルールがきちんと理解できているかを確認してあげてください。また、通れない道（おばけが見ている道）に×印を書きながら進んでいくと、どちらも難易度が高く、発展的な迷路であります。おうちの方も適宜アドバイスをしながら、一緒に取り組んであげてください。

さんすう パズル 第3回

第3回

Z会 × ちびむすドリル

入学前の今だからこそ身に付けてほしい
思考力を養う問題がいっぱい！



取り組みやすい
レベル設定で
「できた！」を実感



充実の保護者向け解説で
お子さまのほめ方、
声のかけ方がわかる！



Z会の本